

平成31年2月1日

昇 学校だより

2月号

港区立筈小学校 校長 石井 卓之

平成31年度の筈小学校

校長 石井 卓之

現在学校では、平成31年度の教育計画の作成に取り組んでいます。平成31年度、施設面では、屋上の防水工事（床面の張り替え、ライン引き）と体育館の冷暖房整備が予定されていましたが、区の配慮で体育館の工事は1年前倒しで1月17日（木）から始まりました。卒業式は暖かく、夏は熱中症を避けて活動することができるようになります。

平成31年度の主な取組

1 毎年学級編成替えを行います。

児童が多くの子供や教師と出会いながら、毎年新たな気持ちで学校生活を送れるようにしていきます。担任による指導の違いが少なくなるように、指導方法のスタンダードを学校として決めていきます。

2 土曜授業に体験的な学習を積極的に取り入れていきます。

土曜授業の欠席者数は残念ながら平日の約1.8倍となっています。一週間の疲れもあり児童の集中力も低下傾向がみられます。港区、筈小学校の地域には専門性のある素晴らしいゲストティーチャーが数多くいます。土曜授業日を4時間として、90分の授業（2学級の場合は1組が1・2時間目、2組が3・4時間目）にゲストティーチャーを積極的に招き、体験から学ぶ機会を増やしていきます。現在既に実施している学習も、年間を見通して位置付けていきます。保護者や地域の皆様には、体験的な土曜授業を参観していただきたいと思ひます。

3 地域コーディネーターの配置・活用を進めていきます。

校外学習や体験的な学習を行うときに、教師が一番苦勞するのが連絡・調整です。教師が企画した活動について、授業時間中には連絡ができず、メールでは細部が調整できないため、会議のない放課後となってしまいます。来校したゲストティーチャーへの対応も、児童を管理しながらどうまくいかなひこともあります。そこで、教育委員会が始めた地域コーディネーターを次年度配置してもらえるように交渉しています。学年の企画が今まで以上に実施できるようになります。

4 プログラミング教育を高陵アカデミーとして実施していきます。

現在、高陵中学校で行っているプログラミング教育を小学校中学年用に指導内容を調整し、実施していきます。本村小学校でも同じ内容で取り組み、両校の進学先である高陵中学校との学習連携を進めていきます。

例年踏襲ではなく、児童の実態をふまえ学校を取り巻くすばらしい教育環境を活かしてまいります。

生活目標

生活指導部

◆寒さに負けない工夫をしよう

2月になると、暦の上では春を迎える季節となりますが、まだまだ厳しい寒さが続きます。寒さに負けない体をつくるには、温度調節のしやすい服を着るなどの工夫をして、元気に外で遊びましょう。また、遊んだ後の手洗いうがいもしっかりと行い、風邪やインフルエンザの予防をしましょう。

安全目標

◆安全に給食の準備や掃除をしよう

ご家庭でも睡眠や食事を十分にとり、規則正しい生活を送れるよう、ご協力をお願いします。